

信州大学「男女共同参画推進センター」は「DE&I推進センター」に変わりました！

▶ ご挨拶



中村 宗一郎 信州大学長

このたび、信州大学では「男女共同参画推進センター」を改組し、「DE&I推進センター」として新たな歩みを始めました。すべての構成員が、その個性と能力を最大限に発揮できる環境を整えることは、これからの大学に課せられた重要な使命であると考えています。

本学ではこれまで、女性教員の採用促進や管理職への登用をはじめとするジェンダー平等の実現に向けた取組を進めてきました。しかしながら、現状に満足することなく、今後はさらに一歩踏み込んだアファーマティブ・アクションを継続的に推進し、女性が自らの意志で職業的成長を遂げていける環境づくりに努めていきます。



関 利恵子 DE&I 推進センター長

信州大学は、男女共同参画推進ワーキングチームの発足（2008年）以来、男女共同参画推進室から男女共同参画推進センターへと改称し（2016年）、組織内の教職員にとって働きやすい職場環境の充実を目指し、女性研究者支援、ワークライフバランス、意識啓発などに取り組んできました。ジェンダー、年齢、国籍、障がい、ライフスタイルなど、さまざまな違いを包摂し、個々の多様性を尊重する組織文化が求められる昨今において、2025年に、センターを「DE&I推進センター」へと改組しました。これは、より広い範囲にわたって「多様性（Diversity）」「公正性（Equity）」「包摂性（Inclusion）」を重視し、全

また、多様な性を生きる学生や教職員への理解と支援も、大学が果たすべき基本的な責任の一つと考えています。わが国では、性的マイノリティの方々の支援する法制度がなお整備途上にあり、教育機関が率先して環境整備と啓発に取り組む必要があります。本学では、全国の大学に先駆けてLGBTQ+の方々が安心して学び、働くことができるよう、ガイドラインを策定しました。今後は、多目的トイレや更衣室の整備といった実効的な施策をさらに進めていきたいと考えています。

信州大学は、「世界につながる信州大学」を合言葉に、“個性が輝き、多様性が価値となる未来”の実現に向けて、日々歩を進めています。DE&I推進センター設立を機に、信州大学におけるDE&Iの取組がさらに深化し、すべての構成員にとって「学び甲斐があり、働き甲斐があり、互いの夢が叶う大学」へと進化していくことを心より願っています。

ての構成員が能力を最大限に発揮できる環境づくりを目指すものです。

新センターでは、これまでの取組をさらに推進させるため、4つの部門（キャリアデザイン部門、インクルージョン部門、ワークライフ支援部門、広報・ネットワーク部門）のもと、女性研究者の上位職登用、ロールモデルの育成やライフイベントとの両立支援に加え、多様な背景を持つ学生・教職員へのサポート体制の充実、意識啓発活動や研修、地域連携によるダイバーシティ推進にも取り組みます。あわせて、学内外のネットワークを活用し、包括的な支援と構造的な課題の解決を目指します。

DE&I推進が、単なる「取組」とにとどまらず、「実のある取組」となるには、多様な価値観を持つ人が交流し、学び合うことが、その原動力につながると考えています。これからも、多様な学問領域とそれを支える教職員・学生が集う「信州大学」だからこそ可能な取組を、着実に進めてまいります。

▶ 『SuFRE（スフレ）』の意味が新しく生まれ変わりました！

2025年、信州大学男女共同参画推進センターは、Diversity, Equity & Inclusionを名前に冠するDE&I推進センターに変わります。これを機会に、本センターの刊行物の名前に使われている『SuFRE』の意味をもう一度考え直すことにしました。

『SuFRE』は元々、男女共同参画の前身である女性研究者支援室（Support Office for Female Researchers）の英語名の一部を取っていました。20世紀後半に、基本的人権の尊重に基づいて「男女共同参画」や「平等」の精神が、社会全体の進歩と調和を実現するために必要不可欠なものになりました。時は移り、21世紀の社会においては、社会が多様な人々を受け入れ、その一人ひとりに平等な権利が保障されており、お互いの違いを排除することなく、共に助け合い、協力し合う必要があるため、Diversity、

Equity & Inclusionという三つの指標を掲げるようになったと考えることもできます。

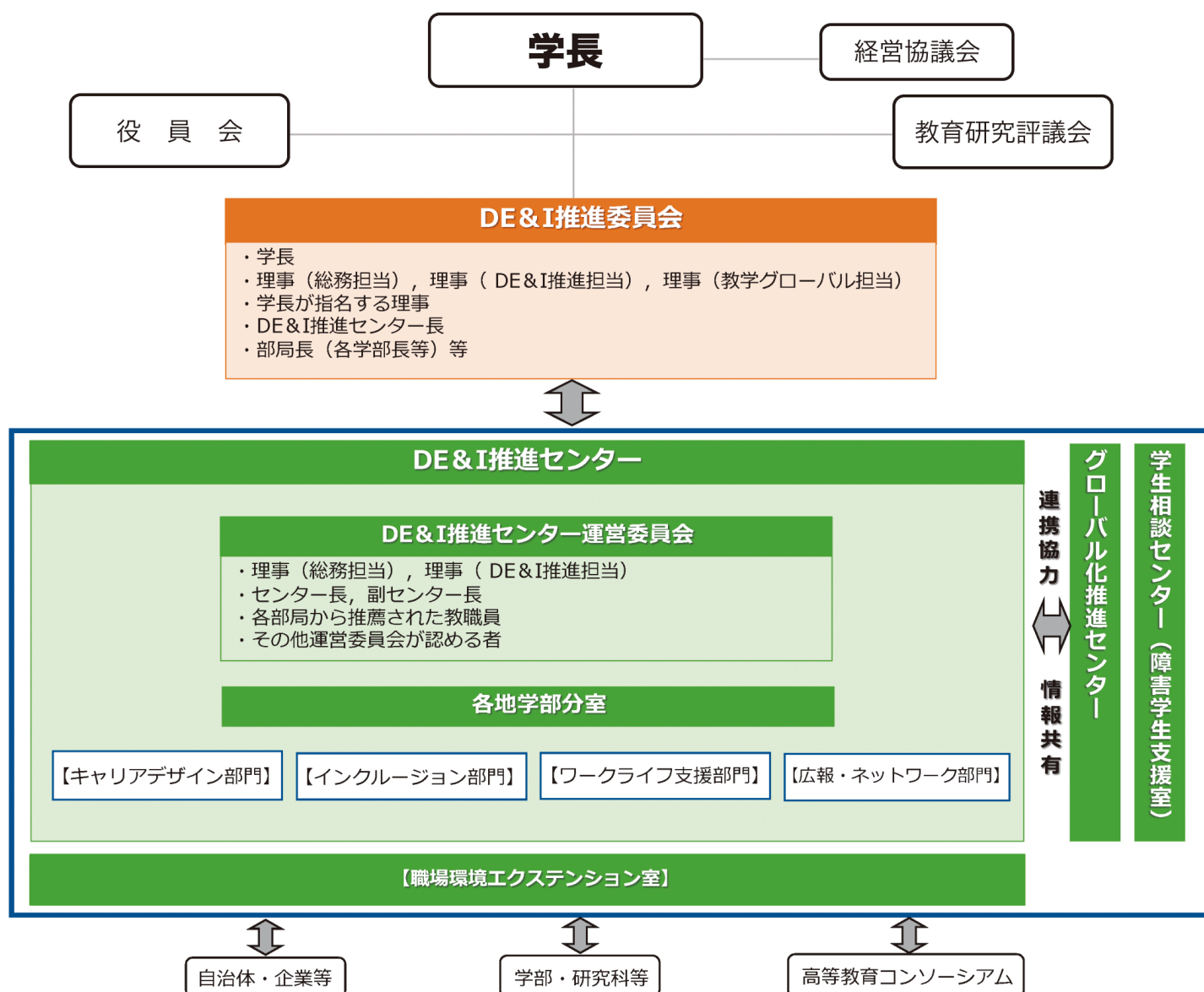
あらためて、『SuFRE』という綴りの意味を考えると、ひとつのアイデアが浮か

びました。それが新しい意味 Shinshu unbiased Fairness for Researchers and Employees「信州における、研究者・職員のための偏見無き公正／公平性／公平観」です。

男女の隔たりはもちろん、どのような個人であろうとも「偏りのない」「公平・公正さ」をもって、研究者も職員も気持ちよく暮らし、働けることを目指す。そのような信州大学であって欲しいとの願いを込めて、『SuFRE』の名前の解釈を「更新」致したいと存じます。（伊藤 尽 副センター長）



▶ 実施体制



▶ DE&I推進センター運営委員会

【委員紹介】26名の教職員が委員となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

●理事（総務担当）	安彦 広斉	●医学系（附属病院）助教	高沢 裕子
●理事（DE&I推進担当）	浜野 京	●人文学部 主査	長井 真次
●社会科学系 教授（センター長）	関 利恵子	●教育学部総務グループ 主査	常泉 竜太
●人文科学系 教授（副センター長）	伊藤 尽	●医学部附属病院臨床工学部 技士長	菊池 紀敏
●教育学系 教授	上村 恵津子	●医学部附属病院信州がんセンター 教授	間宮 敬子
●社会科学系 教授	赤川 理	●理学系 教授	中島 美帆
●理学系 教授	栗林 勝彦	●学生相談センター 助教	森光 晃子
●医学系 教授	古庄 知己	●学務部学生支援課長	龍野 範生
●保健学系 講師	徳武 千足	●国際部長	清水 正樹
●工学系 教授	KAWAMOTO PAULINE NAOMI	●コーディネーター	田中 英子
●農学系 助教（テニュアトラック）	徳武 優佳子	●職場環境エクステンション室長	古橋 良幸
●繊維学系 助教	瀧澤 辰洋	●総務部総務部長	伊藤 誠策
●総合人間科学系 准教授	安達 弘通	●総務部人事課長	後藤 謙

▶ 信州大学主催、県内各地自治体・企業等と連携！「みんなで信州の未来を考えよう」

<全5回>女性活躍推進キャラバンの軌跡

～令和3年から3年間にわたり、信州大学の各地キャンパスを巡ってセミナーを行いました～

第1回(令和4.12.9開催)

ゲスト▶松本市 臥雲義尚市長、
八十二銀行 伊東清美様

テーマ▶あらゆる場でのジェンダー平等
を目指して

第5回(令和6.12.19開催)

ゲスト▶金沢大学 長谷部徳子副学長/
ダイバーシティ推進機構長、
エムケー精工株式会社 佐須田好洋様

テーマ▶地域の女性活躍における大学の
役割について



▲上田キャンパスでの様子



▲伊那キャンパスでの様子

第2回(令和5.9.27開催)

ゲスト▶長野市 荻原健司市長、
内閣府男女共同参画局 岡田恵子様、
新光電気工業株式会社 岩野恵子様、
エムケー精工株式会社 佐須田好洋様

テーマ▶男性の役割は家庭や職場で
どう変わっていくのか

第3回(令和5.12.12開催)

ゲスト▶上田市 土屋陽一市長、
株式会社はたらクリエイト 井上拓磨様、
森美術館ディベロップメント担当/
上田市観光大使 品川知子様

テーマ▶魅力ある街・多様性のある地
域づくりのために

第4回(令和6.9.12開催)

ゲスト▶伊那市 白鳥孝市長、
伊那食品工業株式会社 柴克宏様

テーマ▶本学女性研究者の活躍と地
元企業との共同研究について

セミナー総括～旅の終わりに～

浜野 京 理事 (DE&I 推進担当)

令和3年12月から令和6年12月までの3年間、男女共同参画推進セミナーを信州大学の各キャンパスがある地域で5回実施しました。我が国のジェンダーギャップについては様々なところで取り上げられていますが、長野県については男女の賃金格差、女性の管理職比率等が全国最下位で、女性県外転出口が男性の約10倍にのぼるという課題がクローズアップされるなか、教職員の皆様から「男女共同参画推進にあたっては大学だけでなく、家庭や地域社会の意識も変え一緒に取り組んでいかないと進まない」という多くのご意見をいただいたことから実施に至ったものです。この問題を核に「みんなで信州の未来を考えよう」というタイトルで各地をキャラバンし、各学部のご協力のもと、各地の首長、企業の幹部、活躍されている卒業生、有識者に加え、本学の理事、学部長、教員等をパネリストに私がファシリテートさせていただき、毎回

ハイブリッドで開催し、のべ500名以上のご参加をいただきました。

各セミナーの内容はSuFRE通信に掲載しておりますが、地域によって男女共同参画推進の進捗の度合いには差があったものの、各学部での課題や取組の工夫、卒業生のご活躍ぶり、首長からの連携のラブコール等々、事前打合せの段階から知ることができ、大変有意義で盛り上がりました。ご参加・ご視聴いただいた皆様の感想の中では「まずこうしなければならない、ではなく、私たち自身がどういう社会を作り上げていきたいか、ありたい姿をもっと語り合うことが大事でないか」「このように議論を交わす機会を持ち、互いに補い合って、地域で協力してありたい社会を作っていきたいと思っている人は多い」というものが少なからずあり印象的でした。

担当役員として、男女共同参画推進およびDE&I推進に携わる方々をはじめ皆様のご協力を得ながら今後もこのような場を提供し、地域と連携して行動を起こし、ありたい姿になるための貢献を本学で続けていく所存です。

● 女性活躍に関する情報および男性教職員の育児休業等の取得率を公表しました

女性活躍推進法に基づき、以下の情報を公表します。

- ・管理職に占める女性の割合(令和7年4月時点)
19.3% (23人) (管理職全体(男女計)119人)
- ・役員に占める女性の割合(令和7年4月時点)
22.2% (2人) (役員全体(男女計)9人)



育児・介護休業法に基づき、以下の情報を公表します。

- ・男性教職員の育児休業の取得率(令和7年4月時点)
本学の男性教職員(常勤教職員及び非常勤教職員)の育児休業の取得率31.8%

● メンター制度利用実績報告

メンタリングは本学の教員であるメンターが研究生生活を継続していくうえで戸惑いを感じたり、不安になったりしたときに相談に応じる制度です。令和6年度は教員1名から、研究者としての将来について、相談がありました。ぜひご活用ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/dei/initiatives/mentor.php>

● ベビーシッター派遣事業割引券の配布を開始しました

令和7年度分の割引券の配布を開始しました。令和6年度は7名で計441枚の利用がありました。詳細はDE&I推進センターのホームページをご覧ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/dei/support/babysitter.php>

● イクボス・あったかボス宣言を更新しました

令和7年4月1日の新学部長就任、人事異動に伴い、イクボス宣言を行っていただきました。宣言内容はDE&I推進センターのホームページをご覧ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/dei/awareness/iku-boss.php>

● 7月14日(月)～ ポスター展示およびDE&I推進関連図書コーナーの設置を行います

期間: 令和7年7月14日(月)～

場所: 中央図書館2階エレベーターホールおよび各学部の掲示板
詳細はDE&I推進センターのホームページをご覧ください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/dei/news/event/dei.php>



このコラムは、本学で“活き活き”働く教職員がリレー形式でお届けする“粋”なコラムです。

さとう しん べい
佐藤 真平 准教授 | 学術研究院(工学系)

家族構成

妻・長男(2歳)

あなたのリラックス法は?

リラックス方法: テニスをする

リラックスタイム: 温泉でぼーっとする時間



▲あんずのお花見

🌸 子育てをするとよく分かるワークライフバランス



▲誕生日にいちご狩り

信州大学に着任5年目になりました。妻も私も関東の出身で、知り合いがいない信州に引っ越してきて、長男(現在2歳)が産まれました。共働きのため、日々タバタですがなんとか2人で子育てをしています。2歳くらいになると少しおしゃべりができるようになり、いつの間にかできることが増えていたりして、驚きとともに子供の成長を楽しんでいます。信州という観光地に住んでいることを生かして、週末は家族で出かけたりしていますが、子供が新しいことにどんどん興味をもつので、やりたいこ

とや連れて行ってあげたいところが増えて追いつきません。ワークライフバランスという点では、平日にしっかり朝から仕事をして、休日は家族と過ごしたり趣味のテニスをさせてもらったりと、子供が出来たことで仕事とプライベートのメリハリがつけられるようになりました。



▲恐竜の化石がこわい



▲近所の公園



お問い合わせ

信州大学 DE&I推進センター(SuFRE)

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
内線 811-2150, 811-2140
TEL 0263-37-3150 FAX 0263-37-3314
mail sufre@shinshu-u.ac.jp

バックナンバーはこちらからご覧いただけます。

信州大学 スフレ

検索

教育学部分室

〒380-8544
長野市西長野 6- 口
内線 831-4018

工学部分室

〒380-8533
長野市若里 4-17-1
内線 821-5693

農学部分室

〒399-4598
上伊那郡南箕輪村 8304
内線 851-3120

繊維学部分室

〒386-8567
上田市常田 3-15-1
内線 841-5031

▶ <https://www.shinshu-u.ac.jp/dei/article/sufre/>